2023 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ 「環境体験教室」				
題名・副題	めざせ植物ジュニアレンジャー(8)　～植物の名前～				
月日・時間	2024年1月28日(日)　10:00～12:00				
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館　1階・会議室・隣接公園				
部会・講師名	生物部会　吉岡嗣二郎	参加数	16名	講師数	6名

写真・画像

植物ジュニアレンジャーの目的を聞きました

シラカシの幹の中は真っ白です

オオバコとシロツメクサを観察しました

冬バージョンの植物版画を楽しみました

成果解説

今回の講座のテーマは、「植物の名前」です。植物はどうしてその名前がついたのでしょうか？その名前の理由を観察(ウォッチング)しながら学び、自然の不思議さやおもしろさを体験しました。
冬場で狭い公園ですが誰でも知っている身近な植物の形態を観察し、その名前を確認しました。シラカシは、幹の中が白いこと。サルスベリは猿が滑ってしまいそうに幹がツルツルしていること。コブシは人のこぶしから名前がついたことを知りました。「アベリア」の日本名は、「ハナゾノツクバネウツギ」、花の下に羽子板の羽(ツクバネ)がありました。オオバコ(スモウトリグサ)とシロツメクサは冬のため小さいままでしたが、名前の由来を知ることができました。室内に戻り、よく見かけるツクシやドクダミなどの名前の由来も知りました。
植物版画では、植物が少なくなった「冬バージョン」として行いました。常緑樹のため葉が水をはじき、苦戦しましたが楽しい作品ができました。また、植物ジュニアレンジャーの認定者が1名誕生し、参加者から大きな拍手がありました。